

「入園進級おめでとうございます」

園長 鈴木 勝子

園庭ではプランターのチューリップの花が満開となり、新しい年度をお祝いしてくれています。

お子さまのご入園、ご進級を心よりお喜び申し上げます。二〇一九年度は、新入園児三十三名を迎え、入園進級式が行われました。これから、共に『ひかりの子として歩いていく』仲間との出会いに感謝いたします。

さて、昨年度末には保護者の皆様のご協力をいただき、聖隷保育園こども園年度末研修会および園内研修、新年度準備を滞りなく行うことができました。お忙しい時期に家庭保育のご協力ありがとうございました。おかげ様で多くの職員が研修に参加して、自分の保育を振り返りたくさんの気づきや学びを得る事ができました。三月二十八日には中区和合町にあります聖隷こども園めぐみにて、聖隷クリストファー大学 社会福祉学部こども教育福祉学科 准教授細田直哉先生を講師にお招きして『子どもを幸せにする保育環境』と題して講演会が行われました。子どもはみんな、神さまから『自ら成長する』という宿題を与えられています。「走り回る」「高いところに登る」等、「だめ」「危ないからやめて」と無意識に声をかけたくなるような、大人からすると困った行動こそ「神さまからの宿題」です。子どもはこの宿題に主体的に取り組んでいるのです。今、この子は何を学ぼうとしているのだろうか？どうしたいのかな？という視点で子どもの行動を観察し、その成長を手助けするためにはどんな物をどんな風に整えたら良いか？モデルとなる保育者はどう関わるべきか？新年度を迎えるにあたり、物的・人的環境を通しての教育保育を常に考え、構成する事の大切さを改めて学ぶことができました。園内研修では、子どもたち一人ひとりの『今』の姿を受け止め、自ら成長する力を信じて待つことを大切に、子どもたちが主体的に遊びを展開できるような環境を整え準備し、保育者の関わり方についても皆で確認しあいました。

今年度も保護者の皆さまと園とが両輪となってお子さんの成長を支え合い、神さまからの宿題である成長を喜び合っていきたいと思います。一人ひとりの子どもさんにとって、そして保護者の皆様にとっても園が安心でき、安らげる居場所となって、笑顔がたくさん見られるよう微力ではありますが、職員一同努めてまいります。今年度もよろしく願いいたします。